

営繕業務におけるDX推進 ～3つの挑戦～ (東京都町田市)

取組概要

コロナ禍をピンチではなく、職員の働き方を変える**チャンス**として捉え、工事の監督業務や施設調査をはじめとする営繕業務を変革するため、**3つのテーマ**でDXを推進し、営繕業務が抱える**課題解決**に挑戦

- (1) **現場臨場***を変える 安全に工事を継続するため、iPadとweb会議システムを活用した立会いや検査を実施
- (2) **施設調査**を変える 赤外線サーモグラフィカメラとiPadを活用した施設調査の効率化
- (3) **コミュニケーション**を変える iPadと大型タッチディスプレイを活用して打合せ等のコミュニケーションを円滑化

※臨場とは「場所に赴く」という意味を持つ言葉で、現場臨場は、建設現場における現場の立ち会いなどを指す

取組の効果

- (1) 「現場臨場を変える」取り組みの効果
 - ・ 新型コロナウイルス**感染拡大時期**においても**安全に工事を継続** (iPadとweb会議システム活用)
 - ・ 遠隔での立会い・検査・会議により**30日分の業務量を削減** (iPadとweb会議システム活用)
- (2) 「施設調査を変える」取り組みの効果
 - ・ 調査内容をデータ化し調査を「**見える化**」(赤外線サーモグラフィカメラとiPad活用)
 - ・ **100万円の調査費用を削減** (赤外線サーモグラフィカメラ活用)
- (3) 「コミュニケーションを変える」取り組みの効果
 - ・ 打合せ資料のデータ化により**29%の紙文書出力件数を削減** (大型タッチディスプレイ活用)
 - ・ 打合せ資料のデータ化により**114時間の打合せ準備時間を削減** (大型タッチディスプレイ活用)
 - ・ リモート工場検査により**60%の旅費を削減** (iPad と大型タッチディスプレイ活用)

創意・工夫した点

・ iPadと大型タッチディスプレイの機器連携を意識し、相乗効果が図れるよう取り組みを進めてきた。また、着実にDXの取り組みを進めていくため、日々の打合せの改善など身近な業務で実現しやすいことから始めるようにした。

他団体へのアドバイス

・ 行政と工事受注業者に比較的身近な機器である**iPad**や**iPhone**などを活用して遠隔臨場を試行してはいかがだろうか。

・ **大型タッチディスプレイ**については、技術系部署以外でも、日々の打合せや会議を効率化し、**コミュニケーションを深める**ことができる**ツール**であると考えている。ぜひ導入を検討いただきたい。

人口 430,803人(R4.1.1現在)

担当 財務部営繕課



DXの取り組みの様子



DXで使用したICT機器